

令和7年度 7～9月 事業案内



お申し込みは、お電話・メール・FAX
または直接窓口へお願いします。

かがやくうつわ陶器づくり



日時 7月6日(日)
午後1時30分～午後4時
内容 伝統的な釉薬で
お好みの陶器をつくります。
定員 20名
料金 3,000円
申込 要/6月6日(金)～
6月13日(金)までに定員
に達した場合：抽選
6月13日(金)までに定員に
達しなかった場合：先着

おおきな土器づくり



日時 7月26日(土)・7月27日(日)
午前9時30分～12時
(午後4時30分まで延長可)
内容 6kgの粘土を用いて
土器を作ります。
料金 1,200円
申込 要/6月26日(木)～
7月3日(木)までに定員に
達した場合：抽選
7月3日(木)までに定員に
達しなかった場合：先着

こども映画上映会①



日時 8月17日(日)
午前10時～12時
内容 演目「おしりたんてい⑨」ブッ
かいていせきのぼうけん」ほか
定員 50名
申込 不要



古墳の里の草木染め①・②



日時 ① 8月31日(日)
② 9月21日(日)
各回午前10時～12時
内容 植物を用いた
染め物体験を行います。
定員 各回20名
料金 ① 1,000円 ② 2,500円

申込 要/① 7月31日(木)～
8月7日(木)までに定員に達した場合：抽選
8月7日(木)までに定員に達しなかった場合：先着
② 8月21日(木)～
8月28日(木)までに定員に達した場合：抽選
8月28日(木)までに定員に達しなかった場合：先着

発掘ガール展



日時 9月6日(土)～10月5日(日)
午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
内容 郡山女子大学短期大学部の学
生による発掘調査の成果を展
示します。



古墳でお月見



日時 9月7日(日)
午後6時～午後8時
内容 望遠鏡で月を観察します。
講師 ふれあい科学館職員
定員 30名
申込 要/8月7日(木)～
8月14日(木)までに定員
に達した場合：抽選
8月14日(木)までに定員
に達しなかった場合：先着

おおやすば 歴史ツアー



日時 9月11日(木)
午前8時～午後6時
内容 会津の大型古墳を巡ります。
定員 40名
料金 5,000円
申込 要/8月4日(月)～
8月18日(月)までに定員
に達した場合：抽選
8月18日(月)までに定員に
達しなかった場合：先着
※申込方法は往復はがき・メール・
FAXのみ。電話・窓口は不可。

歴史講演会



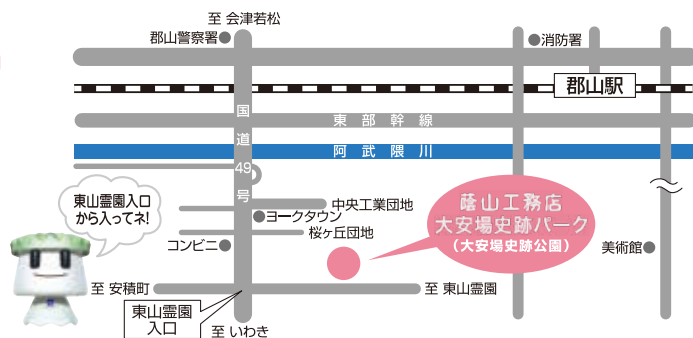
日時 9月28日(日)
午後1時30分～午後3時
演題 出土鏡から古墳時代をみる
講師 上野祥史氏
(国立歴史民俗博物館)
研究部考古研究系
定員 100名
申込 要/8月28日(木)～
9月4日(木)までに定員に
達した場合：抽選
9月4日(木)までに定員に
達しなかった場合：先着

蔭山工務店 大安場史跡パーク 大安場史跡公園 (公益財団法人郡山市文化・学び振興公社)

住所：福島県郡山市田村町大善寺字大安場160番地
電話：024-965-1088 FAX：024-965-1090
Mail: oyasuba@bunka-manabi.or.jp
休館日：月曜日(月曜日が祝日の時は次の平日)
※公園は年中無休です。

ウェブサイトも
チェック!

大安場史跡公園 検索



vol.
65

蔭山工務店 大安場史跡パーク
(大安場史跡公園)

まるさんかくしかく

タイトルはまるい石釧、さんかくは古墳の前方部しかくは後方部を表現しています。

4・5月のイベントレビュー

古墳まつり春

～GWを古墳と共に～

5月3日(土・祝)・4日(日・祝)の2日間をかけて、古墳まつり春を開催しました。

3日には、館内で勾玉ざんまいや郡山市美術館のもん切り、屋外でじよもにゃん選手権や田村商工会の出店があり、公園全体が活気にあふれていました。

4日には、館内で3日と同じ勾玉ざんまいや橋本紙器合名会社の紙細工、屋外で古代刀選手権やマルシェが行われ、3日以上での盛り上がりを見せました。



わくわく 発掘探検隊

～出てきた土器とみんなの笑顔～

4月27日(日)は、わくわく発掘探検隊を行いました。皆さん時間を忘れて、夢中になって掘っていました。



はじめての 土器づくり

～重なる粘土に心を込めて～

5月17日(土)・18日(日)は、はじめての土器づくりを行いました。皆さんの丁寧な手つきで素晴らしい作品になりました。



日本列島に人類がやってきたのは、およそ4万年前と言われています。人々は大陸から海を渡り移動してきました。当時は現在よりも海面が低く、本州・四国・九州はひとつの大きな陸地(古本州島)でした。

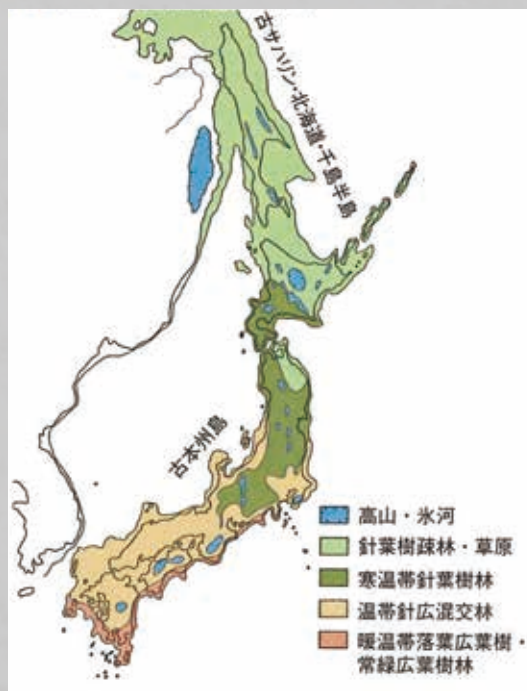
当時は氷河期の末期にあたり、気候は大陸性の寒冷・乾燥気候で、平均気温は現在より7～8度程低く、とても寒くて厳しい環境でした。食べ物として利用できる植物はとても少なかったようです。そのため、旧石器時代の人々は、主に動物を食料資源として、狩猟を軸にした遊動生活を送っていました。

当時の生活の道具として欠かせなかったのが、石を打ち割って作った道具「石器」です。

石器は動物の狩猟、仕留めた動物や木の加工に使用していたと考えられています。人々は環境や生活スタイルに合わせて、様々な形状の石器を製作していました。

ナイフ形石器や尖頭器、スクレイパーや細石刃など、多種多様な石器があります。

■LMGにおける日本列島の植生



佐藤宏之2019『旧石器時代 日本文化のはじまり』敬文社
20頁より引用
※LGM=最終氷期極大期

■石器の種類(抜粋)

器種	想定用途
ナイフ形石器	切る、刺す
台形様石器	切る、刺す
削器	削る
搔器	掻きとる、なめす
彫器	削る、溝を掘る
細石刃	切る、刺す

旧石器時代は人類史で最も古く、そして一番長く続いた時代です。ですが、その実態はあまり知られていません。今回は旧石器時代とはどんな時代なのか、そして郡山市から出土した旧石器についてご紹介します。

郡山の旧石器



郡山市所蔵

サイドスクレイパー(削器)

荒井猫田遺跡出土

安積町の荒井猫田遺跡は大規模な中世の町跡として有名な遺跡ですが、実は旧石器時代の遺物も出土しています。こちらは頁岩製のサイドスクレイパー(削器)で、大型の縦長剥片を素材に、縁辺(横の部分)を加工して刃部を作り出しています。エンドスクレイパー(搔器)は腹面側から刃部を分厚く作り出し、獣の皮についた脂肪などを掻きとる作業に使われていたのに対し、サイドスクレイパーは、動物の骨や木などを薄く削り取る作業に使われていたと考えられています。

石刃(ブレード)

郡山館遺跡出土

西ノ内の郡山館遺跡のローム層からも旧石器が出土しています。こちらは黒曜石製の石刃で、大型の縦長剥片を素材にしています。石刃とは縁辺がほぼ並行で縦に長く規則的に割り取られた剥片(元の石から剥ぎ取られたものの総称)のことを指します。黒曜石はガラス質の流紋岩の一種で、火山の中のマグマが急激に冷やされてできたものです。非常に鋭く割れやすい性質を持っています。産出地が限られていてとても貴重な石材でした。郡山市周辺には黒曜石の産出地はないので、この石器は遠隔地から持ち込まれていることが分かります。縄文時代になると、黒曜石はより重宝されるようになり、採取の動きがより活発になっていきます。



郡山市所蔵



基部加工ナイフ形石器、ペン先形ナイフ(台形様石器)
会津若松市笹原遺跡No.16出土